

## ☆ポイント☆

# 地域のインフラを支える電機製作会社の後継者のマネジメントスキル向上と経営の見える化実現を兼ねたPDCA実行アドバイス

会社名：株式会社釜石電機製作所  
所在地：岩手県釜石市甲子町第9地割171-4  
業種：電気・機械器具の修理・製作・設置等

### <概要>

当社は現在の日本製鉄株式会社東日本製鉄所釜石地区等の協力会社として昭和24(1949)年に創業、主に電気・機械器具のメンテナンスに関わってきた。東日本大震災時には当社の被害は軽微であったため、津波被災したモーター・ポンプ等の修理を行い、被災取引先等設備の早期復旧に寄与。また、「はばたく中小企業・小規模事業者300社(2018)」や東北経済産業局の新連携事業認定、中小機構の販路開拓コーディネーター事業活用等、積極的な経営に取り組んできた。しかし、経営管理面においては自社で資金繰り表を作成していたものの、事業計画書や予算管理表が無い状態であった。そこで後継者である専務の育成も兼ねて、「経営の見える化」に向けた各種管理ツールの作成とPDCAサイクルの実行など経営基盤の強化を目指すため、震災復興支援アドバイザー制度を活用することとした。

### <復興のステージとアドバイス内容>

震災後、受注量の大幅な減少（2か月間はゼロ）



取引先等から津波等で故障した機械のメンテナンスの受注増加。復旧・復興に寄与。



事業継続のための後継者育成/  
経営の見える化

<事業計画策定、事業承継の知見を有するアドバイザーを派遣>

・後継者を同席させ事業計画書、予算管理ツールを作成

- ①各事業部門の事業方針検討、決定
- ②経営目標と事業計画書の作成
- ③月次管理表と事業計画月次管理表の作成
- ④③で作成した管理表の実行

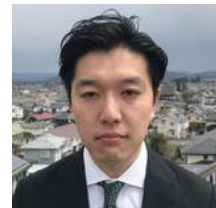
・アドバイス実施時は毎回職員も同席し、アドバイザーとチームとなり適切なプロジェクト管理を行った。

### <成果・展望>

- ・震災復興支援アドバイザー制度活用を後継者教育の好機と捉え、毎回社長と後継者の2名が出席することにより、後継者である専務が予算管理表を十分に理解し、自ら業績や課題を把握できるようになるなどマネジメントスキルが向上、事業承継準備が進捗した。
- ・新たに経営理念を含む事業計画書を作成することで、経営目標及び各事業部門別の方針と行動目標を策定。さらに、目標を実現するための事業計画月次管理表を作成、実行することで、経営全体及び組織力強化並びに社員のスキルアップの方向性を明確にすることができ、経営基盤強化につながった。



代表取締役  
佐藤一彦氏



専務取締役  
佐藤太郎氏



本社・第一工場

事務所・第二工場

北上事業所

### <事業者様コメント>

今回の復興支援においては「月次予算管理表」及び「月次事業計画管理表」を作成し、毎月各管理表の進捗状況を確認し対策を講じたことで「経営の見える化」と「PDCAサイクルの構築」に繋がり、結果としてマネジメント力が向上しました。